

土木学会 コンクリート委員会
平成 27 年度 第 1 回規準関連小委員会議事録（案）

1. 日時および会場：2015 年 9 月 8 日（火）15:00-17:00、スクワール麹町
2. 出席（敬称略）：久田委員長，横関幹事長，五十嵐，上田，上野，氏家，小川，川西，岸，国枝，蔵重，坂本，高谷，田中，内田（辻本代理），中村，渡辺（野村代理），日比野，平塚，堀口，堀越，正村，松原，丸岡，皆川，宗像，森，山口 各委員
3. 配布資料
 - 1-0 議事次第
 - 1-1 委員構成
 - 1-2-1 第一回規準関連小委員会議事録
 - 1-2-2 第二回規準関連小委員会議事録
 - 1-3 委員会活動状況報告
 - 1-4-1 今後の活動方針について
 - 1-4-2 示方書連絡調整委員会報告書抜粋
 - 1-5 日本コンクリート工学会規準・指針の制定／改正に関する規定
 - 1-6 規準編 HP の更新について
 - 1-7-1 コンクリートの加振ボックス充填試験方法（案）
 - 1-7-2 スランプ板のタッピングによるコンクリートの変形試験（案）

4. 議事

(1)委員長挨拶（久田）

開催が遅れて申し訳ありませんが，より良い規準を目指してご協力お願いします。

(2)自己紹介（各位）

資料 1-1 を確認するとともに，出席者の自己紹介が行われた。

(3)前回，前々回議事録確認，委員会活動状況報告（横関）

横関幹事長から資料 1-2-1，1-2-2，1-3 に基づき，本委員会の事前委員会 2 回の議事録，常任委員会提出の報告書の確認がなされた。

久田委員長から，1 年前に前々回の委員長である鎌田先生から引き継ぎ，規準編のあるべき姿を少人数で議論した。その際，二羽先生から規準編は従来の 2 年に 1 回の発行ではなくてもよく，本来あるべき，新しい規準編の在り方に関する議論を進めて欲しいと言われており，そこに時間を割きたいと思うとの発言があった。また，従来から三種委員会で

も規準の試案などが出されており、読者から見れば土木学会規準と思われて独り歩きしがちであるが、そこについても、どのような手順で規準にしていくのかといった仕組みについてももしっかり示していきたい。との補足があった。

(4)常任委員会に諮った規準編の今後の活動方針，設計編・施工編・維持管理編とのリンクを討議（久田，蔵重）

久田委員長から資料 1-4-1，蔵重委員より資料 1-4-2，横関幹事長より資料 1-5 の説明がなされた。以下に，委員会での意見，今後の担当 WG を示す。

①電子化について

示方書との連携，JIS 検索など使い勝手がよくなる

構造工学委員会では電子化ができており，コンクリート常任委員会で議論していく

⑤他の示方書との整合について：各 WG で議論

適切な試験などの体系化ができ良い

他の示方書とのリンクを考えることは良いこと

JIS や ISO との整合も考えるべき

⑥規準の体系の在り方：将来構想 WG で議論

例えば熱物性などの試験はほとんどないが，これを機に他の規準などの紹介だけでもするとよい

⑦規準の改廃：各 WG で議論

古い規準は web 上のみとするとスリム化にもつながる

アンケートなどにより，関連機関へ紹介するのもよいのでは

⑧各小委員会等からの規準化依頼，ISO 原案の照会対応：随時担当 WG で検討

JIS は 5-6 年で改訂されており，規準編の改訂が 4 年に 1 回となると情報提供がずれる可能性があり，web 化もよいと思われる

⑨規準策定・改廃の明文化：将来構想 WG で議論

よく使われているものは JCI にお願いして JIS 化するなどの提案をしてもよい

(5)各 WG 活動（各位）

- ・ホームページ WG：ホームページの更新について（上野）

上野主査より，資料 1-6 に基づき HP 更新方針の提案がなされた。

1 回／年程度の更新でよいのではないか

目次については，出版 HP へのジャンプの形式でよい

従来通り，本委員会費用で業者へ依頼することでよい

- ・フレッシュコンクリート WG：

フレッシュコンクリートに関する試験方法の制定について（日比野）

日比野主査より、資料 1-7-1, 1-7-2 に基づき、三種委員会施工性能指針改定版に含まれる 2 つの規準について規準化に向けた審議の提案がなされた。

①JSCE-F x x x コンクリートの加振ボックス充填試験方法

②JSCE-F y y y スランプ板のタッピングによるコンクリートの変形試験

いくつかの質問がなされたが、9 月中に個々に日比野主査まで意見を提出⇒10 月に三種委員会で審議⇒規準編委員会で再チェック⇒11 月の常任委員会提出⇒3 月頃出版、の手順を進める

規準編の番号については上野主査と日比野主査で相談する

本委員会での審議のために試験方法に加えて解説を日比野主査から各委員へ配布する

(6)その他

- ・製品・機械 WG は人数が少ないため、硬化コンクリート WG と合同で WG 活動する
- ・各 WG で担当規準・関連規準のレビューをお願いする
- ・各位への連絡については、皆川先生にご尽力いただいた東北大のメーリングリストもしくは土木学会のシステムを利用してください。

次回、第二回委員会は、

日時：12 月 25 日 15:00～17:00

以上